

おもしろ算数(209) (小5年生)

(このページは、ちよくせつにゆうりよく直接入力できません。 いんさつそのまま見るか、つか印刷してもらって使ってね!!)

小学校5年生の みなさん、こんにちは。

おもしろ算数 (209) は、「整数の性質」の問題です。



【問題】

1 から 36 までの整数を、同じ数になるようにグループに分けましょう。

- ① 2つのグループに分けましょう。
- ② 3つのグループに分けましょう。
- ③ 4つのグループに分けましょう。

さあ、あなたはどんな分け方をしますか、考えましょう。

【自分の考え】

①

②

③

答え. ①、 ②、 ③、 それぞれ、たとえば、次のようなグループの分け方があります。

①について、◆小さい順に半分に分けます。1～18と19～36

◆偶数と奇数に分けます。

偶数…2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36

奇数…1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35

②について、◆小さい順に3つに分けます。1～12と13～24と25～36

◆3の倍数、3の倍数+1、3の倍数+2に分けます。

3の倍数…… 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30, 33, 36

3の倍数+1…1, 4, 7, 10, 13, 16, 19, 22, 25, 28, 31, 34

3の倍数+2…2, 5, 8, 11, 14, 17, 20, 23, 26, 29, 32, 35

③について、◆小さい順に4つに分けます。1～9と10～18と19～27と28～36

◆4の倍数、4の倍数+1、4の倍数+2、4の倍数+3に分けます。

4の倍数…… 4, 8, 12, 16, 20, 24, 28, 32, 36

4の倍数+1…1, 5, 9, 13, 17, 21, 25, 29, 33

4の倍数+2…2, 6, 10, 14, 18, 22, 26, 30, 34

4の倍数+3…3, 7, 11, 15, 19, 23, 27, 31, 35

※「同じ数ずつ分けましょう。」という問題の場合は、上のように、倍数を使うとわかりやすいですね。

①の偶数と奇数は、2の倍数と2の倍数+1に分けたことになりますね。